

令和7年度 北九州市一般会計決算（教育委員会所管分）

（歳入）

（単位：円）

款 項 目	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	翌年度繰越額	差 (収入済額－予算現額)	備 考
教育委員会所管分 合計	30,659,451,000	22,631,312,255	22,159,549,687	471,662,568	6,873,089,000	△ 8,499,901,313	
17 使用料及び手数料	112,564,000	104,363,591	104,363,591	0	0	△ 8,200,409	事項別明細書 (26～31頁)
01 使用料	109,594,000	102,311,921	102,311,921	0	0	△ 7,282,079	
12 教育使用料	109,594,000	102,311,921	102,311,921	0	0	△ 7,282,079	
02 手数料	2,970,000	2,051,670	2,051,670	0	0	△ 918,330	
10 教育手数料	2,970,000	2,051,670	2,051,670	0	0	△ 918,330	
18 国庫支出金	16,890,093,000	15,606,535,628	15,606,535,628	0	1,786,689,000	△ 1,283,557,372	事項別明細書 (30～39頁)
01 国庫負担金	11,520,986,000	11,832,324,442	11,832,324,442	0	0	311,338,442	
04 教育費 国庫負担金	11,520,986,000	11,832,324,442	11,832,324,442	0	0	311,338,442	
02 国庫補助金	5,325,126,000	3,752,190,928	3,752,190,928	0	1,786,689,000	△ 1,572,935,072	
12 教育費 国庫補助金	5,325,126,000	3,752,190,928	3,752,190,928	0	1,786,689,000	△ 1,572,935,072	
03 委託金	43,981,000	22,020,258	22,020,258	0	0	△ 21,960,742	
08 教育費委託金	43,981,000	22,020,258	22,020,258	0	0	△ 21,960,742	
19 県支出金	11,647,000	9,948,723	9,948,723	0	0	△ 1,698,277	事項別明細書 (40～45頁)
02 県補助金	10,430,000	9,223,000	9,223,000	0	0	△ 1,207,000	
09 教育費県補助金	10,430,000	9,223,000	9,223,000	0	0	△ 1,207,000	
03 県委託金	1,217,000	725,723	725,723	0	0	△ 491,277	
09 教育費委託金	1,217,000	725,723	725,723	0	0	△ 491,277	
20 財産収入	15,668,000	16,874,521	16,874,521	0	0	1,206,521	事項別明細書 (44～47頁)
01 財産運用収入	12,053,000	14,262,511	14,262,511	0	0	2,209,511	
01 財産貸付収入	11,979,000	13,039,247	13,039,247	0	0	1,060,247	
03 基金運用収入	4,000	1,214,264	1,214,264	0	0	1,210,264	
05 特許権等 運用収入	70,000	9,000	9,000	0	0	△ 61,000	
02 財産売却収入	3,615,000	2,612,010	2,612,010	0	0	△ 1,002,990	
02 物品売却収入	3,615,000	2,612,010	2,612,010	0	0	△ 1,002,990	

令和7年度 北九州市一般会計決算（教育委員会所管分）

（歳入）

（単位：円）

款 項 目	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	翌年度繰越額	差 (収入済額－予算現額)	備 考
21 寄附金	37,800,000	52,914,892	52,914,892	0	0	15,114,892	事項別明細書 (48～49頁)
01 寄附金	37,800,000	52,914,892	52,914,892	0	0	15,114,892	
07 教育費寄附金	37,800,000	52,914,892	52,914,892	0	0	15,114,892	
22 繰入金	1,121,226,000	1,169,328,223	1,169,328,223	0	0	48,102,223	事項別明細書 (50～55頁)
01 特別会計繰入金	4,000,000	3,583,602	3,583,602	0	0	△ 416,398	
05 市民太陽光発電所 特別会計繰入金	4,000,000	3,583,602	3,583,602	0	0	△ 416,398	
02 基金繰入金	1,117,226,000	1,165,744,621	1,165,744,621	0	0	48,518,621	
12 学校応援基金 繰入金	8,000,000	7,758,621	7,758,621	0	0	△ 241,379	
15 SDGs 未来基金繰入金	228,075,000	208,180,000	208,180,000	0	0	△ 19,895,000	
19 企業版ふるさと 納税基金繰入金	14,000,000	14,000,000	14,000,000	0	0	0	
20 ポートレースによる 未来のまちづくり 投資基金繰入金	867,151,000	935,806,000	935,806,000	0	0	68,655,000	
24 諸収入	456,353,000	886,046,677	414,284,109	471,662,568	0	△ 42,068,891	事項別明細書 (54～65頁)
01 延滞金加算金 及び過料	5,234,000	3,513,624	3,513,624	0	0	△ 1,720,376	
01 延滞金	5,234,000	3,513,624	3,513,624	0	0	△ 1,720,376	
03 貸付金元利収入	341,832,000	777,012,244	307,302,026	469,710,218	0	△ 34,529,974	
09 教育費 貸付金元利収入	341,832,000	777,012,244	307,302,026	469,710,218	0	△ 34,529,974	
04 受託事業収入	1,000,000	894,370	894,370	0	0	△ 105,630	
04 教育費 受託事業収入	1,000,000	894,370	894,370	0	0	△ 105,630	
06 雑入	108,287,000	104,626,439	102,574,089	1,952,350	0	△ 5,712,911	
02 弁償金	0	852,500	852,500	0	0	852,500	
03 違約金及び 延納利息	0	6,875,000	6,875,000	0	0	6,875,000	
04 雑入	108,287,000	96,898,939	94,846,589	1,952,350	0	△ 13,440,411	不能欠損100,000 (市立高校学生寮負担金)
25 市債	12,014,100,000	4,785,300,000	4,785,300,000	0	5,086,400,000	△ 7,228,800,000	事項別明細書 (68～69頁)
01 市債	12,014,100,000	4,785,300,000	4,785,300,000	0	5,086,400,000	△ 7,228,800,000	
11 教育債	12,014,100,000	4,785,300,000	4,785,300,000	0	5,086,400,000	△ 7,228,800,000	

令和7年度 北九州市一般会計決算（教育委員会所管分）

（歳出）

（単位：円、内訳欄は千円）

款 項 目	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	差（不用額）	支出済額の主な内訳
13款 教育費計	88,333,593,000	76,583,818,387	7,424,943,000	4,324,831,613	
1 教育職員費	52,471,187,000	50,965,607,287	0	1,505,579,713	事項別明細書（188～191頁）
1 職員費	52,471,187,000	50,965,607,287	0	1,505,579,713	・義務教育諸学校等職員給与費 44,954,466千円 ・教育委員会職員費 6,011,141千円
2 教育総務費	1,450,685,000	1,326,790,271	0	123,894,729	事項別明細書（190～195頁）
1 教育委員会費	17,321,000	17,238,820	0	82,180	・教育委員（5人）報酬 16,440千円
2 事務局費	319,688,000	302,150,556	0	17,537,444	・学校跡地利活用推進事業（幼稚園） 41,065千円 ・私学振興経費 39,607千円
3 奨学費	245,494,000	180,896,660	0	64,597,340	・奨学資金貸付事業 119,905千円
4 教職員人事費	767,950,000	736,459,271	0	31,490,729	・教職員給与支給関係事務経費 386,395千円 ・特別支援学級補助講師の配置事業 195,085千円
5 教育センター費	100,232,000	90,044,964	0	10,187,036	・特別支援教育相談支援事業経費 50,895千円 ・管理運営費（教育センター） 23,993千円
3 小学校費	15,920,255,000	10,414,565,351	4,018,420,000	1,487,269,649	事項別明細書（194～199頁）
1 学校管理費	5,202,340,000	5,022,824,317	0	179,515,683	・教材、教員等標準運営経費 1,494,765千円 ・学校給食調理業務民間委託事業 1,330,184千円
2 教育振興費	1,135,367,000	1,023,098,941	0	112,268,059	・就学援助 484,410千円 ・小学校外国語活動補助事業経費 173,161千円
3 学校整備費	9,582,548,000	4,368,642,093	4,018,420,000	1,195,485,907	・学校施設老朽化対策事業 591,061千円 ・大規模改修事業【繰越】 1,599,395千円 ・外壁改修事業【繰越】 289,724千円
4 中学校費	10,173,169,000	6,357,084,933	3,055,051,000	761,033,067	事項別明細書（198～203頁）
1 学校管理費	2,982,510,000	2,850,127,630	0	132,382,370	・教材・教員等標準運営経費 956,359千円 ・学校給食調理業務民間委託事業 730,362千円
2 教育振興費	1,531,235,000	1,381,720,103	0	149,514,897	・就学援助 521,348千円 ・「チーム学校」運営・推進事業経費 282,500千円
3 学校整備費	5,659,424,000	2,125,237,200	3,055,051,000	479,135,800	・学校トイレ洋式化100%大作戦 701,104千円 ・外壁改修事業【繰越】 244,830千円

令和7年度 北九州市一般会計決算（教育委員会所管分）

（歳出）

（単位：円、内訳欄は千円）

款 項 目	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	差（不用額）	支出済額の主な内訳
5 高等学校費	156,035,000	134,013,933	0	22,021,067	事項別明細書（202～205頁）
1 全日制高等学校管理費	135,041,000	119,861,648	0	15,179,352	・維持管理費（高等学校） 40,892千円 ・学生寮管理運営事業経費 35,202千円
2 教育振興費	4,010,000	2,646,112	0	1,363,888	・教育振興費 2,537円
3 学校整備費	16,984,000	11,506,173	0	5,477,827	・校舎改良 8,202千円 ・一般維持補修 1,840千円
6 特別支援学校費	4,994,907,000	4,474,479,528	171,940,000	348,487,472	事項別明細書（204～209頁）
1 学校管理費	919,181,000	888,321,547	0	30,859,453	・スクールバス運行経費 564,769千円 ・光熱水費等 111,844千円
2 教育振興費	98,910,000	87,746,028	0	11,163,972	・医療的ケア児支援事業経費 61,465千円 ・教職員の旅費等関係経費 13,935千円
3 学校整備費	3,976,816,000	3,498,411,953	171,940,000	306,464,047	・小倉北特別支援学校等整備事業 3,375,326千円 ・学校施設等改修事業 45,759千円
7 社会教育費	1,457,487,000	1,235,268,874	179,532,000	42,686,126	事項別明細書（208～211頁）
1 社会教育総務費	82,880,000	69,722,699	0	13,157,301	・学校施設開放経費 28,255千円 ・コミュニティ・スクール、地域学校協働活動事業 20,418千円
2 図書館費	1,369,817,000	1,161,337,599	179,532,000	28,947,401	・図書館指定管理者制度導入事業 416,374千円 ・門司港地域複合公共施設整備事業（図書館）経費 253,937千円
3 視聴覚センター費	4,790,000	4,208,576	0	581,424	・管理運営費 4,209千円
8 保健体育費	1,708,982,000	1,675,779,682	0	33,202,318	事項別明細書（210～211頁）
1 学校保健費	1,708,982,000	1,675,779,682	0	33,202,318	・学校給食食材価格高騰対応事業経費 817,000千円 ・学校医経費 275,981千円
9 繰出金	886,000	228,528	0	657,472	事項別明細書（212～213頁）
1 繰出金	886,000	228,528	0	657,472	・土地取得特別会計への繰出金 228千円

令和7年度 北九州市土地取得特別会計決算（教育委員会所管分）

（歳入）

（単位：円）

款 項 目	予算現額 (A)	調定額	収入済額 (B)	収入未済額	差 (B-A)	備 考
教育委員会所管分 合計	109,060,000	78,890,528	78,890,528	0	△ 30,169,472	
1 款 財産収入	108,174,000	78,662,000	78,662,000	0	△ 29,512,000	事項別明細書（314, 315頁）
2 財産売却収入	108,174,000	78,662,000	78,662,000	0	△ 29,512,000	
1 不動産売却収入	108,174,000	78,662,000	78,662,000	0	△ 29,512,000	先行取得した土地購入費の元金分 （門司港地域複合公共施設整備事業）
2 款 繰入金	886,000	228,528	228,528	0	△ 657,472	事項別明細書（314, 315頁）
1 繰入金	886,000	228,528	228,528	0	△ 657,472	
1 一般会計繰入金	886,000	228,528	228,528	0	△ 657,472	先行取得した土地購入費の利子分 ※一般会計からの繰入

（歳出）

（単位：円）

款項目	予算現額 (C)	支出済額 (D)	翌年度繰越額 (E)	不用額 (C-D-E)	備 考
教育委員会所管分 合計	109,060,000	78,890,528	0	30,169,472	
1 款 土地先行取得費	109,060,000	78,890,528	0	30,169,472	事項別明細書（316, 317頁）
2 繰出金	109,060,000	78,890,528	0	30,169,472	
1 繰出金	109,060,000	78,890,528	0	30,169,472	・ 公債償還特別会計 繰出金 先行取得した土地購入費の元金+利子分 （門司港地域複合公共施設整備事業）

教育委員会 令和7年度決算 主要施策

ミッション1 全てのこどもにとって「居心地のよい学校」をつくる

(1) こどもを粹にはめず、一人ひとりのこどもの違いを尊重する

- こどもまんなか教育プラン推進事業 1,124千円
教職員同士の対話による一体感と相互理解を深めるためのワークショップ等を行うことで、「北九州市こどもまんなか教育プラン」の浸透・実践を図った。
- 全国市長会学校災害賠償補償保険事業 3,091千円
児童生徒や教職員等が学校管理下において発生した事故や災害により被る損害に対し、関係者の経済的負担を軽減し、安全・安心な教育環境の維持を図るため全国市長会学校災害賠償補償保険に加入し、迅速かつ適正な補償を行った。
- 世界とつながる！GLOBAL SCHOOL事業 12,837千円
年々増加する帰国・外国人児童生徒の学校への円滑な受け入れを図るため、日本語指導等を実施するとともに、多様性を認め合い、ともに成長する教育活動に取り組んだ。
- 校外施設を活用した水泳学習事業 10,867千円
老朽化が進む学校のプール施設の維持管理にかかるコストの削減及び教員の負担軽減を図るため、プール施設が使用不能となった学校については校外施設を活用して水泳学習を実施するほか、思永中学校温水プールへの近隣校の水泳授業の集約化を試行実施した。

(2) こどもが人を支え、人から支えられ、自分の身を守れるように育てる

- 生命(いのち)の安全教育推進事業 39千円
発達段階に応じた系統的・計画的な性に関する指導を通じて、生命を大切にする考え等を身に付け、子どもたちが「性暴力の加害者・被害者・傍観者にならない」ことを目指すため、指導の充実を図った。

(3) 学校の中でも外でも、安全で安心して過ごせる居場所をつくる

- 学校施設老朽化対策事業（大規模改修事業(繰越)及び外壁改修事業(繰越)含む） 2,929,193千円
安全で安心な教育環境を整備するため、「北九州市学校施設長寿命化計画」に基づき、小学校3校の大規模改修、小学校6校及び中学校3校の外壁改修などの老朽化対策や安全対策を実施した。
- 市立幼稚園閉園関係事業 4,291千円
令和6年度に閉園した鷹の巣幼稚園及び小倉南幼稚園において、閉園後の土地及び建物の利活用のため廃棄物の処理を行うとともに、引き続き使用可能な大型備品について市内小・中・特別支援学校へ運搬を行った。

- 「学校トイレ洋式化100%大作戦」の推進 943,472千円
児童生徒が利用する学校トイレの洋式化を推進するため、改修工事を計画的に実施した(洋式化率の低い小学校10校、中学校20校)。
- 「学校エアコン設置加速化大作戦」の推進 18,022千円
安全で快適な学習環境を確保し、児童・生徒の健康を守るため、特別教室のエアコン設置を進めた(設置教室数:小学校61室、中学校54室)。
- エアコン更新事業 69,552千円
学校の管理諸室の老朽化したエアコンを「再エネ100%北九州モデル」の第三者所有方式を一部活用しながら更新した。

ミッション2 こどもが失敗を恐れず挑戦し、志と人間力を高められる環境をつくる

(2) こどもも教職員も安心して挑戦し、失敗を楽しみ、成長の糧とできる環境を整える

- 「たいけん・まなび充実大作戦」の展開 56,107千円
「アラカルト方式」による校外の体験活動、「こども文化パスポート」など夏休み等の取り組み等をパッケージ化し、体験活動の機会と選択肢の充実を図った。
- 令和7年度全国中学校体育大会運営補助 7,000千円
令和7年8月に本市において開催された「全国中学校体育大会第56回全国中学校卓球大会」に対して運営費を補助した。

(3) こどもが好きなことに夢中になれる環境をつくることで、知的好奇心を高め、思考力を育てる

- スーパー・サステナ・ハイスクール推進事業 2,302千円
北九州市立高等学校において、グローバル人材の育成及びアントレプレナーシップの醸成を図るため、講演会の開催及び国内外への短期留学補助による多様な体験機会を提供した。

(4) 社会に開かれた教育、学校外の学びや放課後活動の充実を進める

- 数理の森ライブラリー事業 21,195千円
理工系分野への進路を目指す女子児童生徒を増やしていくため、理工系の楽しさを感じることができるよう図書資料や情報を提供する等、理工系にフォーカスした図書室の環境を整備した。
- 中央図書館開館50周年記念事業 912千円
開館50周年を契機として、中央図書館のエントランスホールにソファやブックトラックを配置し、利用者が快適にくつろげる空間を整備した。

- 中央図書館ミモザトイレ整備事業 1,980千円
開館50周年を契機として、中央図書館エントランスホール横のトイレの改修を行い、快適で居心地の良い空間を創出した。
- 八幡南分館バリアフリー化事業 7,986千円
高齢者や障害のある方をはじめ、誰もが施設を利用しやすくなるよう、エレベーターや多目的トイレの整備など、施設のバリアフリー化に係る基本設計及び実施設計を行った。
- 北九州市子ども読書プラン次期計画の策定 1,084千円
現行の北九州市子ども読書プラン(令和3年度～7年度)が終了したため、次期北九州市子ども読書プラン(第5次北九州市子ども読書活動推進計画)(令和8年度～12年度)を策定し、その周知を図った。

ミッション3 誰一人取り残さない学びと、未来を見据えた先端的な学びを進める

(1) 確かな学力と健やかな体を育成する

- 教師用教科書及び指導書の購入 142,474千円
令和7年度中学校・特別支援学校中学部教科用図書の採択替えに伴い、教師用の「検定教科書」、「検定教科書用指導書」を購入した。
- 「学びの転換」推進事業 765千円
児童生徒が自らの課題解決へと向かうことができる授業への改善・充実に向け、児童生徒それぞれが主体となる「個別最適な学び」と同時に、多様な他者と学び合う「協働的な学び」との一体的な実施によって、探究的な学びへの転換を推進した。
- 給食食材価格高騰対応事業 817,000千円
長引く物価高騰の中、子育て世帯の負担軽減の観点から、給食費の値上げ相当分の支援を行った。
- 学校給食費の保護者負担軽減事業 170,771千円
進学等を控えた市立小学校6年生(特別支援学校小学部6年生を含む)及び中学校3年生(特別支援学校中学部3年生を含む)を対象とし、物価高騰対策として、国の重点支援地方交付金を活用し、期間限定で学校給食費の保護者負担額を免除した。

(2) 不登校児童生徒の支援やインクルーシブ教育システムの実現、夜間中学の運営などを進める

- スクールカウンセラー・ソーシャルワーカーfor Girls活用事業 7,276千円
女性が抱える課題の支援に深い見識を持つスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを配置し、女子児童生徒が面談しやすい体制を整備するとともに、女性が抱える課題に対しての支援強化を図った。

- **ADRモデル事業の導入等いじめ重大事態総合対策事業** **6,132千円**
いじめ重大事態の適正な調査を行うとともに、モデル事業として、いじめに伴うトラブルの第三者の仲裁に向けた提案を行う等、事案の早期解決に向けて取り組んだ。
- **ネットいじめから子どもを守る事業** **895千円**
ネットいじめ防止に児童生徒が主体的に取り組む風土づくりのため、児童生徒の意識改革につながる取組みを行った。
- **スクールカウンセラー活用事業（チーム学校）** **153,121千円**
不登校やいじめなど様々な悩みに関し、カウンセリングを通し、未然防止や早期発見・対応を図る、心の専門家であるスクールカウンセラーを学校へ配置した。
- **スクールソーシャルワーカー活用事業（チーム学校）** **98,805千円**
貧困や虐待・不登校等への対応を含め、児童生徒の問題行動等の背景にある家庭等の問題に対して、関係機関との連携を図りながら支援を行うため、「福祉の専門家」であるスクールソーシャルワーカーを配置した。
- **SNS相談事業** **7,577千円**
いじめを含む様々な悩みを抱える児童生徒の悩みや不安の解消を図るため、SNSを活用した相談体制を構築した。
- **特別支援教育の校内支援体制充実事業** **53,106千円**
特別支援教育にかかる支援の従事者を増加するとともに、校長の裁量で実情に応じた配置ができるようにするため、「特別支援学級補助講師」の一部を「特別支援教育学習支援員」に振り替え、特別支援教育の校内支援体制を充実させた。
- **学びの多様化学校（不登校特例校）設置検討事業** **547千円**
学びの多様化学校設置について検討を行い、令和9年4月開校の方針を決定した。有識者会議での議論等を踏まえ、学校のコンセプトや教育課程、学校生活の在り方などの基本的な考えを示した「北九州市立『学びの多様化学校』基本計画」を令和8年3月に策定した。
- **学びの多様化学校開校準備事業** **22,032千円**
学びの多様化学校の設置場所である北九州市立教育センター改修工事について、基本設計及び実施設計を完了した。

(4)グローバルな視野で活躍するための資質・能力の育成と国際理解教育の推進を図る

- **KitaQ Girls Techプロジェクト事業** **4,052千円**
未だ男性の分野というイメージが強い理工系分野において、理工系分野に興味をもち、将来、技術者や研究者を志す女子児童生徒等を増やしていくため、学校外で、キャリア情報の提供や理工系の楽しさを体験できる教室等を年間を通して開催し、理工系分野に関する興味・関心を継続的に高める取組を実施した。

(5)ICTを日常的に活用し、リアルとデジタルの効果的な融合を進める

- 北九州市立高等学校端末OS更新経費 3,632千円
北九州市立高等学校にて使用する校務系及び学習系端末のOSをWindows11へアップグレードを行った。

ミッション4 自律的で特色ある学校づくりを進め、教職員のウェルビーイングを高める

- (1)教職員が、時代の変化に対応して求められる資質・能力を身に着ける
- (2)働きやすく、教職員同士がつながり、誰もが力を発揮できる職場をつくる
- (3)自律的で特色のある学校をつくる

- 教職員の「コミュAGE」事業 2,964千円
心理的・法的な視点を取り入れた保護者対応の教職員研修・採用予定者への講座を行うとともに、コミュニケーションスキル向上のための研修動画とテキストを公開することにより、保護者対応スキルの向上を図り、教職員の心理的負担軽減によるウェルビーイングの向上を目指した。
- リフレッシュルーム(ミモザルーム)整備事業 13,451千円
教職員の育児と仕事の両立や健康増進、ウェルビーイングの向上を図るため、学校に教職員向けのリフレッシュルーム(通称:ミモザルーム)を整備した。(18校)
- 保護者一斉連絡システム 5,617千円
スマートフォンアプリを利用し、休校等の緊急連絡を教育委員会から保護者へ一斉配信するシステムを導入した。

ミッション5 地域とのつながりの中で、社会全体でこどもを見守り支え、育てる

(2)学校と地域の連携による学校運営を進める

- コミュニティ・スクール、地域学校協働活動事業 20,418千円
地域と学校が連携・協働し、地域全体で未来を担うこどもたちの成長を支えていくために、「コミュニティ・スクール」と「地域学校協働活動」の一体的な実施に向けた取組を進めた。

(3)教育に関する情報を社会全体で共有できるよう積極的に発信する

- 未来を担う教職員人材確保プロジェクト 7,743千円
教員不足の解消に向けて、教員採用に関する広報活動を強化するとともに、ペーパーティーチャー支援講座の開催や新規採用教員を対象とした奨学金返還支援制度の取組を実施する等、教職員人材の確保に向けた取組を総合的に推進した。

北九州市教育委員会事務 点検・評価報告書 【令和7年度実績】

令和8年9月 北九州市教育委員会

はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律(以下「地教行法」という。)第26条では、すべての教育委員会において、「その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない」と義務付けられています。

これを受け、北九州市教育委員会では、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たしていくために、「北九州市こどもまんなか教育プラン」(計画期間:令和6年度～10年度)(以下、「こどもまんなか教育プラン」という。)に基づく、令和7年度の教育委員会の事務について、点検及び評価を行いました。

本報告書は、その結果及び教育に関し学識経験を有する者の意見をまとめたものです。

《地方教育行政の組織及び運営に関する法律》
(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第1項の規定により教育長に委任された事務
その他教育長の権限に属する事務(同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。))
の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、
これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の
活用を図るものとする。

目次

□ 第1章 北九州市教育委員会について	1
□ 第2章 教育委員会の活動状況	3
1 教育委員会会議	
2 総合教育会議の開催	
3 委員の活動状況	
□ 第3章 点検・評価について	
1 北九州市こどもまんなか教育プラン	4
2 点検・評価についての基本的な考え方	7
□ 第4章 令和7年度施策の点検・評価	
ミッション1 全てのこどもにとって「居心地のよい学校」をつくる	8
ミッション2 こどもが失敗を恐れず挑戦し、志と人間力を高められる環境をつくる	18
ミッション3 誰一人取り残さない学びと、未来を見据えた先端的な学びを進める	28
ミッション4 自律的で特色ある学校づくりを進め、教職員のウェルビーイングを高める	49
ミッション5 地域とのつながりの中で、社会全体でこどもを見守り支え、育てる	59
□ 第5章 学識経験者等の知見の活用	
1 概要	65
2 学識経験者等の意見	
□ 第6章 巻末資料	
1 学力向上への取組み	68
2 令和7年度 教育委員会会議付議案件一覧	70

第1章 北九州市教育委員会について

北九州市教育委員会

北九州市教育委員会は、教育長及び5人の委員をもって組織している。

教育長は、当該地方公共団体の長の被選挙権を有する者で、人格が高潔で、教育行政に関し識見を有するもののうちから、市長が議会の同意を得て任命する。任期は3年。

教育委員会の構成員かつ代表者として会務を総理し、合議体の意思決定に基づき事務を執行する。

委員は、人格が高潔で教育・学術及び文化に関し識見を有する者のうちから、市長が議会の同意を得て任命する。任期は4年。

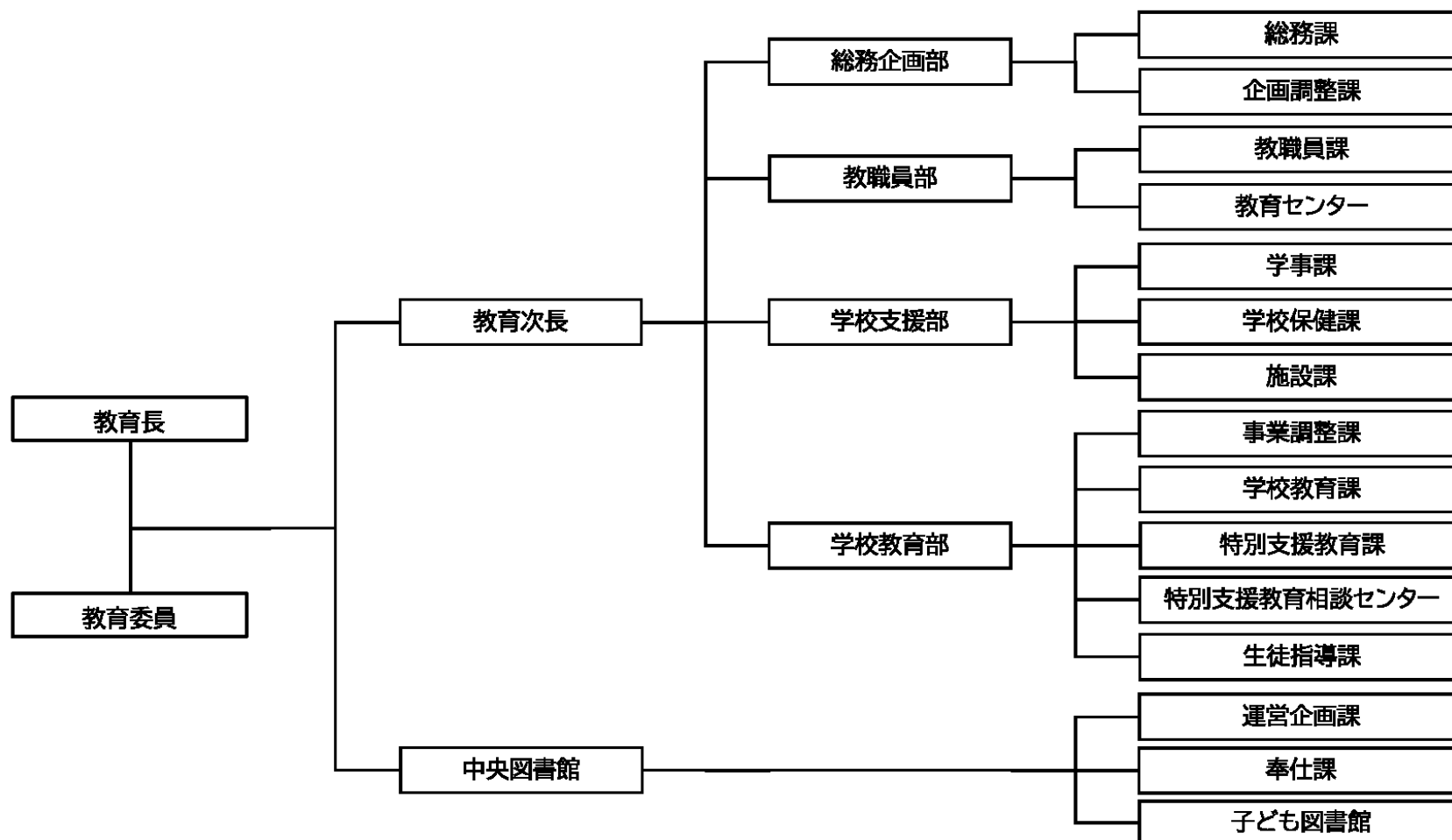
教育長	太田 清 治	令和7年4月1日就任
委員(教育長職務代理者)	清 成 真	令和6年4月1日就任
委員	郷 田 郁 子	令和3年10月9日就任
委員	香月 きょう子	令和5年7月1日就任
委員	中 島 良	令和5年7月1日就任
委員	河 野 智 文	令和8年7月9日就任

(令和8年8月1日現在)

北九州市教育委員会事務局

教育委員会の権限に属する事務を処理するため、教育委員会に事務局を置いている。

(令和8年4月1日現在)



第2章 教育委員会の活動状況

1 教育委員会会議

(1) 審議の状況

教育委員会では、令和7年度に教育委員会会議を20回開催し、議案の審議等を行った。

また、教育委員会会議での議論をより深め、委員がその役割を十分に発揮できるよう、議案等の審議に先立ち、毎回、委員による勉強会を行った。

(2) 傍聴者の状況

47人(延べ数)

議案等の内容	件数
基本方針・計画の策定	12
教育委員会規則等の制定・改廃	16
人事(異動方針・懲戒等)	10
議会への提出議案・概要報告等	8
教科書採択等	3
審議会委員等の任命・委嘱	17
その他教育委員会の個別事業等	23
請願・陳情等	8
合 計	97

※上記97件の内訳:議案50件、協議・報告等47件

2 総合教育会議の開催

地教行法第1条の4により、市長と教育委員会が協議・調整をする場として総合教育会議を置くこととされ、平成27年度から「北九州市総合教育会議」が開催されている。令和7年度は、令和7年12月16日(火)に開催され、次のテーマについて活発意見が交わされた。

○新たな時代の教育デザインの構築について

○子どもの読書活動推進について

総合教育会議



3 委員の活動状況

委員の活動は、定例の教育委員会会議のほかに、本市教育行政の向上を目的とした他都市先進事例や市立学校・教育施設、教育活動の視察、関係団体との意見交換、指定都市教育委員会の協議会への出席、マイスター教員認定式や学校の創立記念式典への出席等も行っている。令和7年度は、宝仙学園小学校(東京都)および東京都教育委員会への視察を行った。

1 北九州市こどもまんなか教育プラン

(1)「北九州市こどもまんなか教育プラン」の策定

北九州市では、教育基本法に基づき、地方公共団体の教育振興基本計画である教育プラン(第1期計画期間:平成21(2009)年度～平成30(2018)年度、平成26(2014)年2月中間改訂、第2期計画期間:令和元(2019)年度～令和5(2023)年度)を策定し、こどもの教育に対する満足度を高めるとともに、市民の参画を進める取組みを総合的に推進してきた。

その結果、学力や体力の向上、文化芸術に触れる取組みの充実、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の専門人材の配置・充実によるきめ細かな対応、スクールヘルパー等の市民の教育参画の推進、経済界との連携による学校支援事業などの地域との連携の充実など、様々な成果や前進があった。

令和6(2024)年3月に策定された北九州市基本構想・基本計画(以下、「新ビジョン」という。)では、目指す都市像を「つながりと情熱と技術で、『一步先の価値観』を体現するグローバル挑戦都市・北九州市」として、その実現に向けて、3つの重点戦略(「稼げるまち」の実現、「彩りあるまち」の実現、「安らぐまち」の実現)が掲げられており、この新ビジョンと整合を図りながら、北九州市総合教育会議を経て、市の教育行政に関する目標や基本方針を定める「北九州市教育大綱」が令和6(2024)年4月に策定された。

北九州市教育委員会では、「こどもまんなかで質の高い教育環境」の実現に向け、この教育大綱の実行計画となる教育振興基本計画として、「北九州市こどもまんなか教育プラン」を令和6(2024)年8月に策定した。

(2)「こどもまんなか教育プラン」の体系

ミッション	主な施策
1 全てのこどもにとって「居心地のよい学校」をつくる	(1) こどもを枠にはめず、一人ひとりのこどもの違いを尊重する
	(2) こどもが人を支え、人から支えられ、自分の身を守れるように育てる
	(3) 学校の中でも外でも、安全で安心して過ごせる居場所をつくる
2 こどもが失敗を恐れず挑戦し、志と人間力を高められる環境をつくる	(1) こどもを「社会の構成員」として尊重し、こどもの意見を聴いて学校運営に活かす
	(2) こどもも教職員も安心して挑戦し、失敗を楽しみ、成長の糧とできる環境を整える
	(3) こどもが好きなことに夢中になれる環境をつくることで、知的好奇心を高め、思考力を育てる
	(4) 社会に開かれた教育、学校外の学びや放課後活動の充実を進める